

毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」です

平成 19 年 12 月の国連総会で毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とする決議がなされ、社会全体での理解が進むよう、啓発の取り組みが行われています。国連が特定の疾患等を啓発する日を決議したのは、エイズ、糖尿病に次ぐもので、世界的な重要度を示すものと考えられます。

自閉症の人が社会で安心して暮らしていけるよう、この日を新たな機会として、うまく人に接することができない人を周囲の人が理解し、包み込み、障がいのあるないに関わらず、すべての人にとって幸福な社会の実現がなされるよう、今一度、周りにはいるさまざまな個性を持った人たちに目を向けてみませんか？

■自閉症とは？

自閉症には「人との関わりにくさ」や「コミュニケーションのとりにくさ」、「特定のものへのこだわりや想像力のとぼしさ」といった共通の特徴がありません。

◎具体的には？

- 視線が合いにくい
- 特定の音や刺激が苦手
- 仲間づくりが苦手
- 言葉の表現や理解に遅れがある
- 急な予定変更や場面の変更が苦手
- 同じことを繰り返す など

◎サポートのポイントは？

- 話しかけるときは短く具体的に
 - 写真や絵、文字、具体的な物などを使って伝える
 - 予定や予定の変更は事前に伝えておく
 - 音や視覚的な刺激に配慮した環境を整える など
- 一人ひとりに合わせた支援が大切です。